

放送日 2011年7月11日～22日

## 「東海地震にそなえて 今週のワンポイント・アドバイス」

いつおこるかわからない「東海地震」。情報から隔絶されやすい外国人の被害を少なくするために、地震の被害から身を守る方法や、事前の準備、地震直後にとるべき行動など、外国人の皆さん一人一人に知ってほしい防災情報をお伝えするコーナーです。

### 20. 水を蓄えよう

3月におきた東日本大震災の多くの被災地では、ライフラインである水道の復旧に見通しが立たず、飲み水だけでなく、生活用水を確保するのが大きな問題となりました。

水は飲み水としてだけでなく、調理や洗顔、手洗い、トイレの廃水などあらゆる状況で必要となります。また、けがをしていれば、傷口をきれいにするためにも使われます。これらを総合すると、一人当たり30リットルの水が必要とされています。しかし、避難時に30リットルの水を抱えていくことはできません。給水車の到着や、ライフラインが復旧するまでの3日間の飲み水だけでも確保できるよう、日頃から家庭で水を保存するよう心がけておきましょう。

家庭でできる水の保存方法として、風呂場やポリタンク、大きめの容器などに、常に水を蓄えておくようにしましょう。これらの水は、災害時には生活用水として様々に利用することができます。ただし、長期的には保存できません。こまめに、水を変えないと、腐ったり、菌が発生したりして、いざというとき、伝染病や腹痛の原因にもなりますので、気をつけましょう。非常時用の飲料水としては、5～6年とといった長期で保存がきく水を買っておきましょう。